

OYSTER PERPETUAL
DAY-DATE



ROLEX

はじめてご使用になる際は

ロレックスをはじめてご使用になる際や、時計が止まった時には、正確に動くようにゼンマイを巻く必要があります。

ゼンマイを巻くには、リューズを手前(6時方向)に回し、ゆるめた状態で、リューズを前方(12時方向)に回します。

(逆に回してもゼンマイは巻かれません)

十分にゼンマイが巻きあがるよう、少なくとも25回転以上リューズを回してください。着用中は手首の動きによってゼンマイが自動に巻かれます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んで元に戻してください。



お買い求めのロレックスについているグリーンのタグは、高精度クロノメーターとしての地位を象徴するものです。この特別なタグは、ムーブメントが COSC (スイス公認クロノメーター検査協会) による公式認定を受けており、さらにロレックスが自社内で独自に行う一連の最終検査を通過したことを証明しています。クロノメーター精度及び、防水性能、自動巻、信頼性を独自に検査することにより、ロレックスは機械式腕時計の卓越性において新たな基準を打ち立てます。さらなる詳細は、[rolex.com](https://www.rolex.com) をご覧ください。



デイデイト

オイスター パーペチュアル デイデイト	4-5
---------------------	-----

操作方法

各部の名称	6-7
操作方法	8-11

ロレックス アフターサービス

お手入れ方法	12-13
アフターサービス	14-15
ワールドワイドサービス	16

ROLEX.COM



ROLEX
OYSTER PERPETUAL
DAY-DATE

オイスター パーペチュアル デイデイト

最高のプレステージを誇るデイデイトは、ダイアルの小窓に日付とフルスペルの曜日表示する世界初の腕時計として誕生しました。その高いステータスにふさわしくゴールドまたはプラチナのみで製造されるこの時計は、瞬く間に影響力のある人々のための時計としての地位を確立しました。

堅牢性と美しさを備えるオイスターケースは、水深100m(330フィート)までの防水性能を保証します。日付の視認性を高めるため、3時位置にサイクロップレンズが取り付けられたサファイアクリスタルは耐傷性に優れています。

デイデイトは、ロレックスの完全自社製造による機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

各部の名称

- 1 時針
- 2 分針
- 3 秒針
- 4 日付表示
- 5 曜日表示
- 6 トウインロックリユーズ(二重密閉構造)



操作方法

リューズ位置 0

リューズが十分にねじ込まれている状態です。リューズがこの位置にあるときに、デイデイトは100m (330フィート) までの防水性能を保証します。

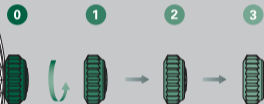
リューズ位置 1 – ゼンマイを巻く

リューズをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リューズを前方(12時方向)に回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や、時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リューズを回しゼンマイを巻きあげてください。



はじめてご使用になる前に

- ゼンマイを巻いてください。(P8参照)
- 日付と曜日が深夜12時に変わることを確認し、針を時計回りに回して時刻を合わせてください。(P10-11参照)
- 日付と曜日を合わせてください。(P10-11参照)



リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。水中でのリューズの操作は絶対にしないでください。

リューズ位置 2 – 日付を合わせる

リューズを1段階引き出します。

日付を変えるには、リューズを前方(12時方向)に回します。

曜日を変えるには、リューズを手前(6時方向)に回します。

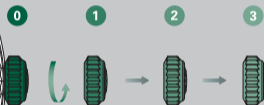
この操作を行っている間も、時計は動いています。

リューズ位置 3 – 時刻を合わせる

リューズを2段階引き出します。

リューズを手前、または前方に回し時刻を合わせます。この位置では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。

午前と午後を正しく設定するために、一度、針を12時まで進めてください。日付が変わった場合は、深夜12時を示しています。



リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。水中でのリューズ操作は絶対にしないでください。

お手入れ方法

日々の簡単なお手入れによってご愛用のロレックスをより良い状態に保つことができます。

必要に応じて、柔らかい布(マイクロファイバークロス等)で拭いてください。ケースやブレスレットを柔らかいブラシと石鹼水で洗うことも可能です。また、海でご使用の後は、真水で海水や砂をよく洗い流してください。

お手入れの際は、リューズが確実に最後までねじ込まれていることをご確認の上、行ってください。

アフターサービス

ロレックスをより良い状態で長くご愛用いただくために、ロレックスでは万全のアフターサービス体制を整えています。

精密なムーブメントには性能と正確さを維持するため、ロレックス独自の高性能な潤滑油が使用されています。潤滑油の状態は時間の経過とともに変化し、性能に影響を及ぼすことがあります。そのため、ロレックスでは時計の定期的なオーバーホールをお勧めしております。オーバーホール時には全ての構成部品が分解され、洗浄されます。

部品一つひとつが綿密に点検され、外観・機能両面において基準を満たさない部品はロレックス純正部品に交換されます。ムーブメントには注油が施され、精度が厳密に調整されます。プレスレットとケースは光沢を取り戻すために、丁寧に磨かれます。さらに、パワーリザーブ、防水性および精度について厳しい検査が行われます。

オーバーホールを終えたロレックスには国際サービス保証書が発行されます。オーバーホールは全国主要都市のロレックス サービスセンターおよびサービスカウンターで承っております。

ワールドワイドサービス

ロレックスの正規品販売店とサービスセンターは、世界100カ国以上にネットワークを広げています。

ロレックス正規品販売店では時計の機能やアフターサービスに関するご相談も承っております。ブレスレットのサイズ調整やオーバーホールについては、ロレックス正規品販売店やサービスカウンターまたは日本ロレックス サービスセンターにご相談ください。

ロレックスの正規品販売店およびサービスカウンター、サービスセンターについては、[rolex.com](https://www.rolex.com) でご確認ください。

ROLEX.COM

rolex.com では時計の機能や品質、ロレックスの技術、ブランドの価値観などをご紹介します。

ようこそ、ロレックスの世界へ。

Rolex reserves the right to modify the models illustrated in this publication at any time.

© Rolex SA, 3-5-7, rue François-Dussaud, 1211 Geneva 26, Switzerland
19.8.1000

rolex.com

